

けやき

平成28年度
学校評価(最終報告号)

NO. 474

練馬区立南が丘小学校

校長 高橋 忠太郎

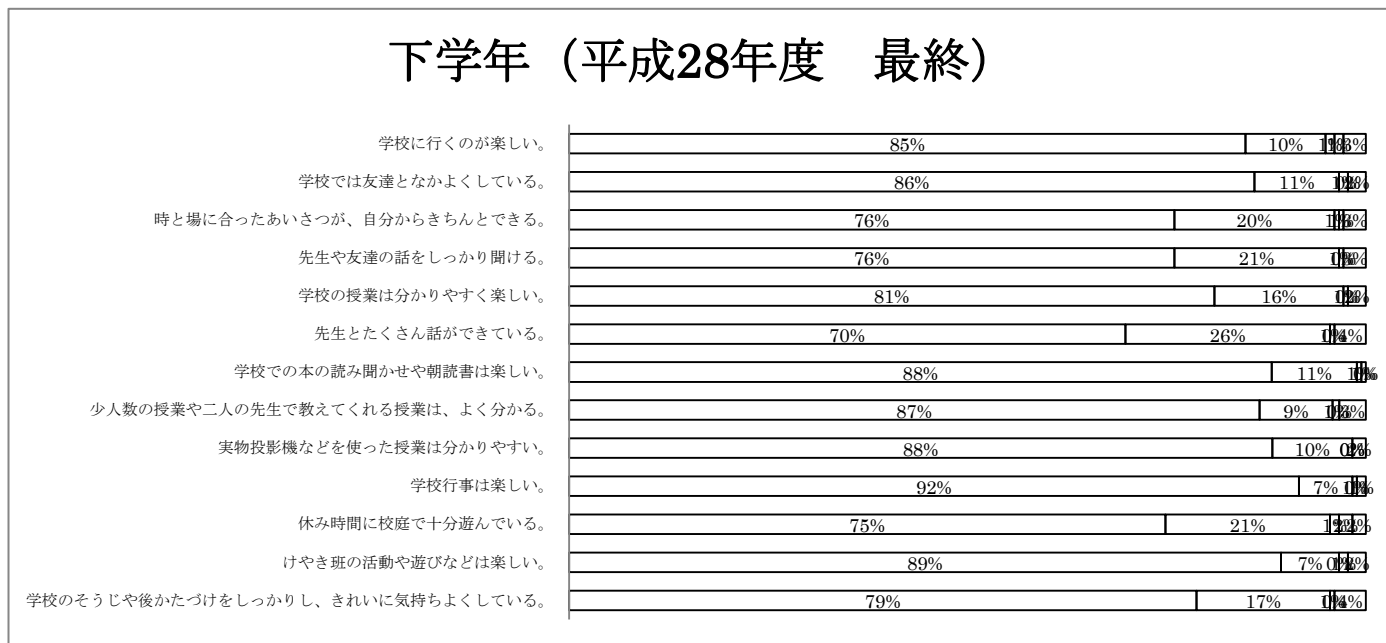
地域、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。常日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、本年度の教育活動につきましてアンケートご協力をお願いいたしましたところ、多くの声をいただくことができました。ありがとうございました。集計がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果を、次年度の教育計画に生かしてまいります。

これからも、様々な面で、地域、保護者の皆様のお力添えが必要となりますので、ご協力の程をよろしく願いいたします。

結果のグラフは、左より **思う** **まあまあ思う** **あまり思わない** **思わない** **分からない** です。

1 下学年児童(179名)アンケート結果



前期と同様に、全てで「思う」「まあまあ思う」を合わせて90%以上なので、良好な結果でした。前年度最終と比べても「思う」の割合が増えている項目が多く、今年度の教育活動の成果と捉えることができます。

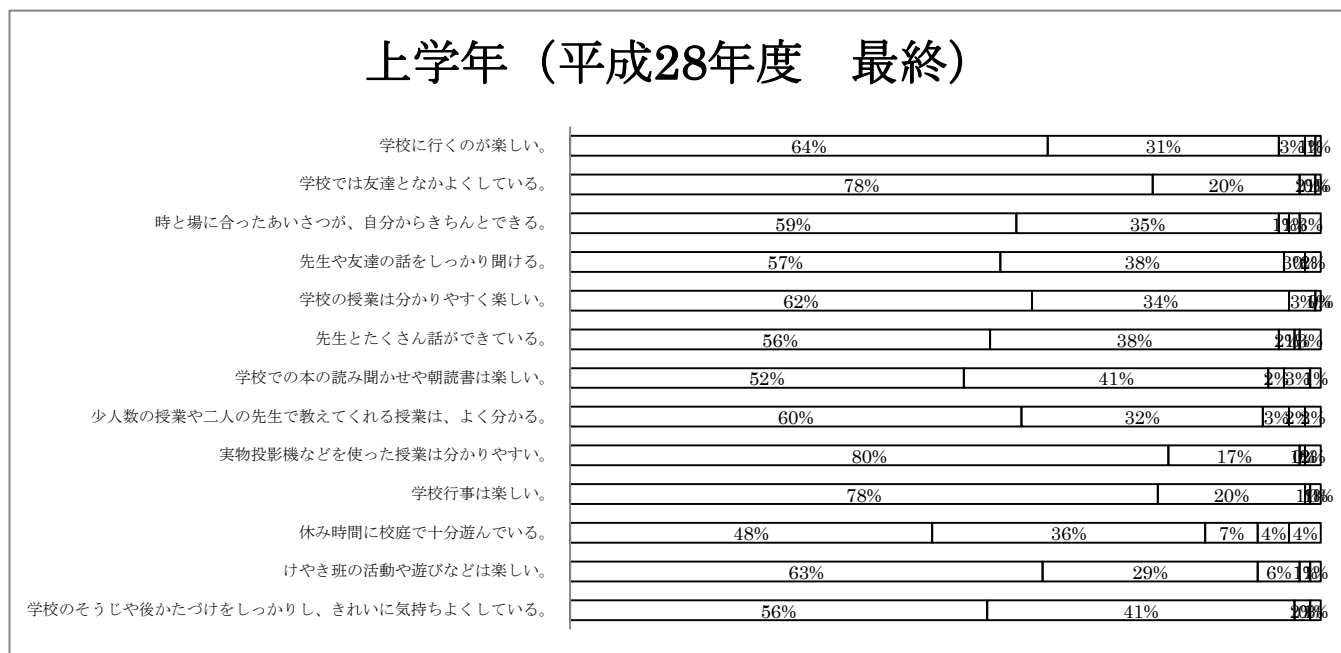
特に、「学校に行くのが楽しい」は、「思う」の割合が前年度最終に比べて11%も増えていました。また、「学校では友達と仲よくしている」、「学校行事は楽しい」も「思う」の割合が前年度最終に比べて6%増えていました。学校に行けば仲よしの友達がいって、楽しく勉強したり、遊んだり、行事を楽しんだりしているという充実した学校生活を送ることができていた様子が伺え、学校として大変嬉しく思います。

「学校での本の読み聞かせや朝読書は楽しい」については、前年度最終、今年度中間、今年度最終と1%ずつですが、着実に上がってきています。図書室の本の貸し出し冊数も昨年同時期と比べると大幅に増えています。(例 現2年生 H27年度貸し出し冊数1436冊 H28年度貸し出し冊数1960冊 現3年生 H27年度貸し出し冊数1001冊 H28年度貸し出し冊数1419冊)これは、図書ボランティアの方々の定期的な読み聞かせや南田中図書館と連携した取組、読書旬間の取組に趣向をこらしてきたことで読書への興味関心が高くなったきた成果だと考えます。

「時と場に合ったあいさつが自分からできる」については、前年度最終、今年度中間とほぼ同様の結果が出ていま

すが、教員の期待する姿や保護者アンケートからはまだ不十分な意見が多く見られます。3学期始業式に学校長より「あいさつを南が丘小の伝統にしましょう」という講話をし、今年重点的な取り組むことになっています。学校体制で再度子供たちに啓発、指導していきたいと思っています。ご家庭でも「おはよう」「行ってきます」「ただいま」「おやすみ」など日常的なあいさつの励行を定着させていきましょう。

2 上学年児童(146名)アンケート結果



前期と同様に13項目で「思う」「まあまあ」を合わせ、90%前後になっているので、概ね良好でした。

「先生や友達の話をしっかり聞ける」「学校の授業は分かりやすく楽しい」「実物投影機などを使った授業は分かりやすい」などの学習に関する項目で、前年度最終から今年度最終にかけて「思う」と回答している児童が増えてきています。5年生や6年生の学力調査の結果が良好であることから、学力定着に向けたよい取組ができてきている成果と考えます。また、夏休みに校内LANが整備されたことにより、教室でパソコンを活用した授業が展開できるようになりました。インターネットや学習に効果的な資料等を活用し、今後の学習活動にも生かしていきたいと思ひます。

また、「先生とたくさん話ができています」も、前年度最終から今年度最終にかけて毎回「思う」と回答した児童の割合が増えてきています。クラス替えがあったり担任が替わったりした学級についても教員との信頼関係が築けていることが伺えます。今後もそのような信頼関係の中で、適切な指導を継続していきたいと思ひます。

しかし、「休み時間に校庭で十分遊んでいる」の項目については、中間のときより上がっていますが、「思う」の割合が7%も下がっています。縄跳び発表会の前は、休み時間に校庭で練習する姿がたくさん見られていましたが、寒くなってくると教室内で過ごす児童が増えてくる傾向にあります。1月に「羽つき集会」が実施されました。集会後、期間を決めて休み時間に貸しましたが、本数が足りなくなるくらい殺到していたことがありました。児童が興味をもつような時期的な取組も有効であることが分かったので、工夫していきたいと思ひます。

「時と場に合ったあいさつが自分からきちんとできる」は、児童の意識としては「思う」の割合が高くなってきていますが、下学年と同様に全校体制での指導を継続していきたいと思ひます。

3 保護者(266名回答)アンケート結果

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
学年人数(人) (アンケート時)	59	68	53	55	45	44
回収人数(人)	50	53	47	46	35	35

保護者（平成28年度 最終）

子どもは、明るく楽しく学校に通っている。	78%	19%	10%
子どもは、友達となかよくしている。	70%	27%	10%
子どもは、きちんと挨拶ができる。	36%	42%	15%
子どもは、学校で先生の話をしっかり聞いている。	39%	52%	8%
子どもは、学習が分かり、楽しく学んでいる。	51%	42%	6%
子どもは、自ら考えたり、考えたことや感じたことを表現したりしようとし…	45%	44%	9%
子どもは、進んで読書をしている。	32%	35%	21%
子どもは、学校行事を楽しみにしている。	78%	20%	10%
少人数の授業は、学習意欲や学力の向上につながっている。	54%	39%	4%
子どものことで困ったとき、教職員に相談できる。	49%	40%	7%
学校は、保護者からの連絡等に対して適切に対応している。	62%	34%	10%
学校は、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。	45%	47%	6%
保護者や地域に対して、学校は参観する機会を十分に設けている。	82%	18%	0%
南が丘中学校との小中9年間を見通した小中一貫教育に取り組んでいる。	42%	40%	5%
学校は、子どもの安全・安心に十分配慮している。	40%	54%	5%
学校の施設や設備は、学習環境面で充実している。	24%	56%	15%

「子供は明るく楽しく学校に通っている」「子供は友達と仲よくしている」「子供は学校行事を楽しみにしている」は、「思う」「まあまあ思う」を併せて95%以上の回答をいただきました。児童からの回答とも同様の結果でした。

「子供は学校で先生の話を知っている」「子供は学習が分かり楽しく学んでいる」「子供は自ら考えたり、考えたことや感じたことを表現したりしようとしている」「少人数の授業は、学習意欲や学力の向上につながっている」などの学習に関する項目でも「思う」「まあまあ思う」を併せた割合がほぼ90%を超える回答でした。

「保護者や地域に対して、学校は参観する機会を十分に設けている」は、「思う」「まあまあ思う」を併せた割合が100%でした。土曜授業公開や学校行事等の機会を通して、子供たちが活動する姿を十分に見ていただいた上で、子供たちが楽しく学校に通っている様子や学習向上・学習状況について、よい評価をいただきました。

また、「学校は、保護者からの連絡等に関して適切に対応している」「子供のことで困ったとき、教職員に相談できる」は、前年度最終から今年度最終にかけて毎回「思う」と回答した保護者の割合が高くなってきました。学校と家庭の連携した取組が教育効果を高めていきます。ご相談やご心配がある場合には、お気軽に担任、学年主任、管理職までご連絡ください。引き続き真摯に対応させていただきます。関連して、今年度中間の保護者アンケートの記述欄に1学期中の面談を希望する意向が強くなりました。学校としてもそのような機会をもつことができるよう到来年度の計画を進めているところです。

学校長の学校経営計画に目指す学校像として「児童が毎日笑顔で通いたい学校」「保護者に信頼される学校」を挙げています。上記に示したことは、まさにこの2点あたり、よい評価をいただいたことを学校として嬉しく思います。継続した取組をしていきたいと思えます。

課題としては挙げられるのは、「子供はすすんで読書をしている」と「子供はきちんとあいさつできる」です。

「読書」については、「思う」「やや思う」と回答した割合が低いですが、今年度中間よりは上がってきました。読み聞かせの継続や図書館との連携、読書旬間の工夫など、継続していきたいと思っています。各ご家庭でも、小さい学年のうちから読み聞かせをしたり、親子読書の時間を作ったり、読書環境を充実させる工夫をしていただけたらと思っております。

「あいさつ」は、南が丘小学校の課題の一つです。下学年の欄に記載しましたが、「あいさつの南が丘小」を目指し取り組んでいきます。どんな場面でどのようなあいさつができればよいのか具体的に指導しています。各ご家庭でも、場面場面に応じたあいさつについて改めて指導していただければと思います。

4 地域（24名回答）アンケート結果

地域（平成28年度 最終）				
子どもは、明るく楽しそうに学校に通っている。	71%	25%	0%	0%
子どもは、友達となかよくしているように思われる。	63%	33%	0%	0%
子どもは、地域でも挨拶をしている。	29%	33%	17%	13% 8%
子どもは落ち着いて学校生活を送っているように思われる。	54%	33%	0%	13%
教職員は、誠実に子ども・保護者・地域の方に接している。	75%	17%	0%	8%
南が丘小学校の教育活動に共感できる。	79%	8%	0%	13%
学校と地域は協力的な関係が築けている。	71%	17%	0%	13%
学校だよりなどのお知らせを読むと学校のことがよく分かる。	79%	21%	0%	0%
学校は、子どもの安心・安全に十分配慮している。	58%	29%	8%	0%
学校の施設や設備は、学習環境面で充実している。	42%	38%	19%	17%
南が丘中学校との小中9年間を見通した小中一貫教育に取り組んでいる。	50%	25%	0%	25%

今年度中間よりも回答数が増えるとともに、全ての項目で「思う」と回答された割合が上がっていました。

特に「子供は友達と仲よくしているように思われる」「学校は地域と協力的な関係が築けている」「学校の施設や設備は学習環境面で充実している」は、「思う」と回答された割合が30%以上も増えています。2学期は、40周年行事や敬老会、チャレンジ祭り、6年生による地域への菊のプレゼントなど、地域の方々に来校される機会が多く、子供たちと関わりの中で子供たちの姿を見てこのような評価をいただけたことを嬉しく思います。子供たちはこの地域の中で育っています。今後も、学校、地域、保護者が連携した教育活動を進めていけるようにご協力をお願いいたします。

「あいさつ」については、お世話になっている地域の方々へのあいさつができるように継続して指導していきたいと思えます。

【自由記述より】

・今年の菊は、とてもよく咲き、美しい鉢植えをいただきありがとうございました。添えられた手紙もとても上手に書いていて感心いたしました。菊も人間も手をかけただけの見返りがあると思えます。

・素晴らしい40周年式典だったと思えます。多くの協力的な地域の方としっかりとした関係の中で学校運営がされていると感じました。

【学校関係者評価委員会】

[学校生活について]

・明るく素直な子供たちが多く、子供たちから元気ももらっている。勤労感謝給食で、子供たちと会食をしたが、4年生でも大人としっかり会話ができ感心した。

・地域への菊のプレゼントや運動会のポスター掲示で子供たちが訪れた際、礼儀正しくてよかった。

[保健指導について]

・給食後の歯みがきに力を入れてほしい。(歯磨き粉をつけず、ブラシだけでも効果がある。)

[交流活動]

・保育園と小学校の交流活動により、保護者も園児も安心して進学できているので、継続してほしい。

[あいさつについて]

・学校評議員会で来校した際、6年生たちが元気にあいさつしてくれた。着実に向上はしている。地域の中でのあいさつは、難しい時代でもあるので、まず、校内の中で会った人にあいさつをしていくことを第一歩にしていくとよい。

・子供からのあいさつを待つのではなく、保護者から、先生からあいさつをしていくことが大事である。学校に来たら保護者から子供たちにあいさつをするような「一声運動」を進めていったらどうだろうか。育成、町会、育てる会等、一つ一つの組織の中からあいさつの輪を広げていきたいと思います。